



Medical

第29期 事業報告書

平成16年7月1日から平成17年6月30日まで



Medical Device



Industrial Device



ASAHI INTECC CO.,LTD.



Medical

目次

ごあいさつ ————— 2

連結財務ハイライト ————— 3

トピックス ————— 5

セグメント別営業の概況 ————— 7

財務諸表（連結） ————— 9

- 連結貸借対照表 ●連結損益計算書
- 連結剰余金計算書 ●連結キャッシュ・フロー計算書

財務諸表（単体）・株式の状況 ——— 11

- 貸借対照表 ●損益計算書 ●株式の状況

会社の概要・株主メモ ————— 13



Medical Device



Industrial Device

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

おかげさまで、当社は平成17年6月17日に東京証券取引所市場第二部および名古屋証券取引所市場第二部へ株式上場を果たすことができました。これもひとえに皆様の格別のご支援とご高配の賜物と存じ、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループ第29期連結会計期間（平成16年7月1日から平成17年6月30日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当社グループの関連する医療機器業界におきましては、政府の医療費抑制政策が一層強化され、市場環境は益々厳しくなっております。さらに、国内・海外を問わず新製品開発や価格面での競争が継続するなど、企業間競争も熾烈さを増しております。また、OA機器、自動車業界をはじめとする産業機器業界におきましては、輸出関連、設備投資関連の回復による需要の拡大が見られましたものの、海外製品との価格競争は一段と激化し、総じて厳しい環境におかれております。

このような状況の中で、当社グループは医療機器分野を中心とした海外売上高の拡大に向けて、米国・欧州・東



南アジアを中心としたグローバル展開を加速化し、また高付加価値製品の拡大に向けて、技術的優位性と開発力の向上に努め、絶えず製品の高機能化・高品質化に注力致しました。

その結果、当連結会計年度における売上高は78億88百万円（前期比25.8%増）となりました。

利益につきましては、高付加価値製品の売上が伸長したこと及び売上増加に伴う原価低減効果や海外子会社工場での更なるコスト管理強化の寄与もあり、経常利益は14億78百万円（前期比48.5%増）、当期純利益は8億99百万円（前期比29.6%増）となりました。

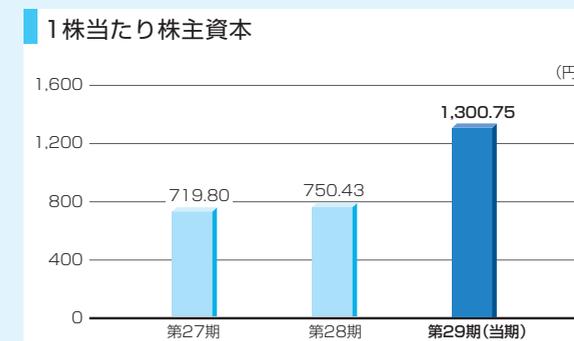
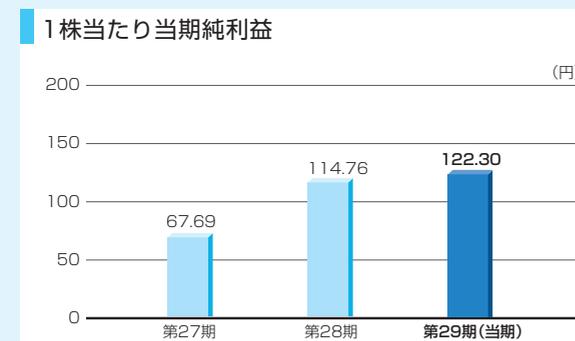
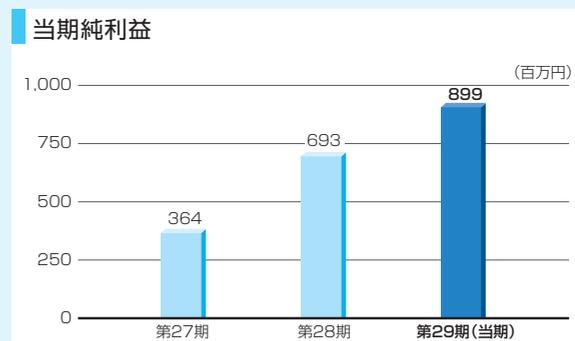
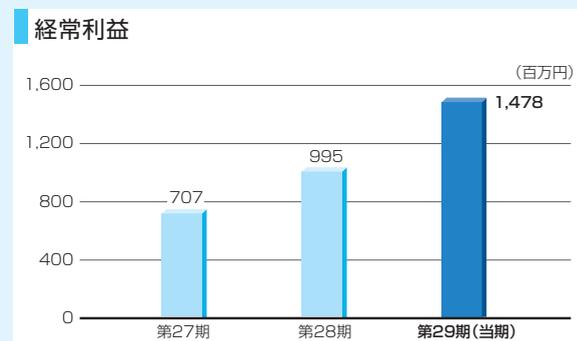
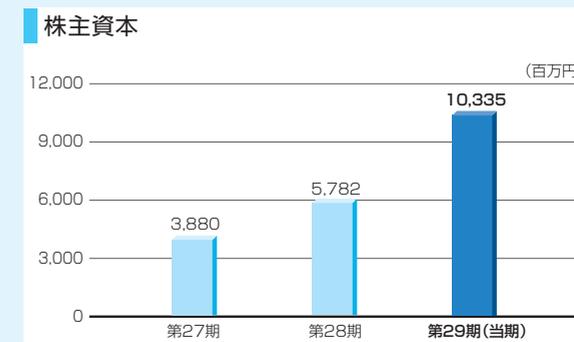
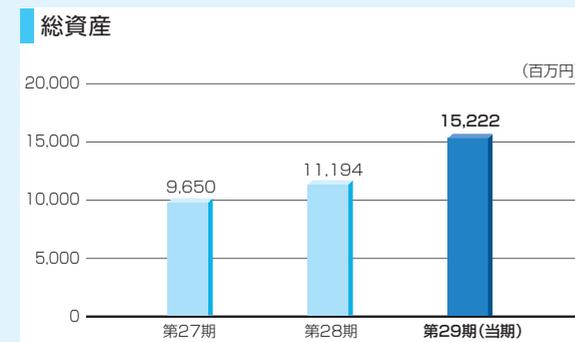
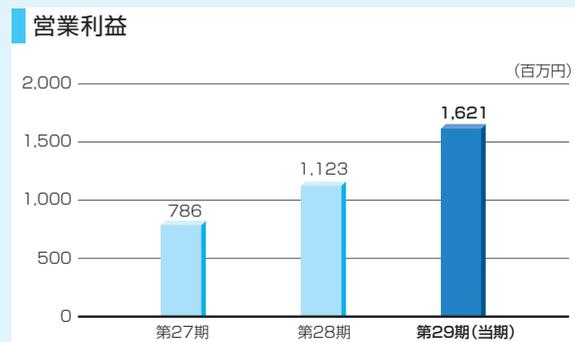
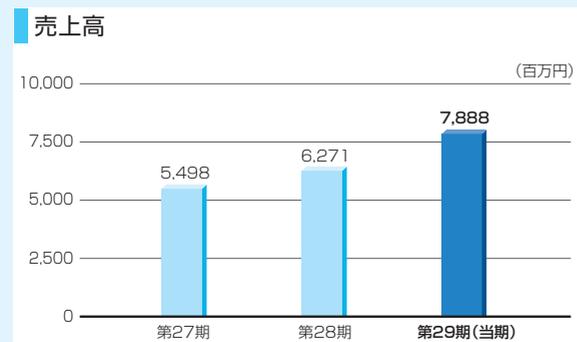
当社グループは、研究開発型企業として、常にオンリーワン製品・ナンバーワン製品の開発・製造を追求することにより、社会に貢献していくという基本精神を常に持っております。

今後も、社会に貢献できる企業であり続けることで、社会からも市場からも評価される企業として、更なる成長を遂げたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年9月

代表取締役社長 喜田尚彦



(注) 当社は、平成16年3月22日付で株式1株につき3株の株式分割を行っております。
 また、平成16年7月1日付で公募増資により700,000株、平成16年7月31日付でオーバーアロットメントによる第三者割当増資により150,000株、平成17年6月16日付で公募増資により800,000株、それぞれ発行しております。
 上記「1株当たり当期純利益」「1株当たり株主資本」のグラフでは、当該株式分割に伴う影響を加味し、適正修正を行った場合の数値を表記しております。

区分	第27期	第28期	第29期(当期)
売上高(百万円)	5,498	6,271	7,888
営業利益(百万円)	786	1,123	1,621
経常利益(百万円)	707	995	1,478
当期純利益(百万円)	364	693	899
総資産(百万円)	9,650	11,194	15,222

区分	第27期	第28期	第29期(当期)
株主資本(百万円)	3,880	5,782	10,335
株主資本比率(%)	40.2	51.7	67.9
1株当たり当期純利益(円)	203.08	114.76	122.30
1株当たり株主資本(円)	2,159.41	750.43	1,300.75
1株当たり配当金(円)	50.00	20.00	30.00

(注) 当社は、平成16年3月22日付で株式1株につき3株の株式分割を行っております。
 また、平成16年7月1日付で公募増資により700,000株、平成16年7月31日付でオーバーアロットメントによる第三者割当増資により150,000株、平成17年6月16日付で公募増資により800,000株、それぞれ発行しております。
 上記の数表における1株当たりの数値については、当該決算期の平均発行済株式総数に基づく数値を表記しております。

1 TOPICS

東証二部・名証二部に上場

当社は、このたび平成17年6月17日付けで、東京証券取引所市場第二部および名古屋証券取引所市場第二部に株式上場を果たすことができました。これもひとえに皆様の格別のご支援とご高配の賜物と存じ、厚く御礼申し上げます。
 今後も研究開発型企業として常にオンリーワン製品・ナンバーワン製品の開発・製造を追求し、社会に貢献できる企業であり続け、そして、事業の成長、業績の拡大にも積極的に取組み、市場からも評価される企業として、更なる成長を遂げてまいります。



上場日の模様
(東京証券取引所)

2 TOPICS

ベトナム現地法人、大阪R&Dセンターを設立

当社は、タイに次ぐ第二の主要生産拠点として、ベトナムに100%出資の現地法人「ASAHI INTECC HANOI CO.,LTD.」を設立いたしました。国内および海外における販売量の増加に伴い、生産能力の更なる拡大を図るため工場を新設(平成19年より生産開始予定)し、高品質・低価格の製品の供給を進めます。
 また、素材研究と次世代の最先端デバイスの開発拠点として、大阪府和泉市に「大阪R&Dセンター」を開設いたします(平成18年7月予定)。これにより当社の開発力が更に向上し、オンリーワン製品・ナンバーワン製品の研究開発に大きく寄与できると考えております。



大阪R&Dセンター(平成18年7月完成予定)

3 TOPICS

新製品のご紹介

当期も次々と新製品を市場に投入し、製品のラインナップが広がりました。平成17年4月には、ガイディングカテーテル「AXESS(アクセス)」の販売を開始。この「AXESS」は、従来のneo'sシリーズで培った技術を投入し、新素材の開発と新技術を融合させた結果、強度と安全性が向上いたしました。
 その他、貫通カテーテル「Tornus(トルナス)88 Flex」、PTCAガイドワイヤー「Zeroclear pro(ゼロクリア プロ)」などの新製品の販売を開始いたしました。



貫通カテーテル「Tornus(トルナス)88 Flex」

ガイディングカテーテル「AXESS(アクセス)」

4 TOPICS

積極的なプロモーション活動を展開

新たなビジネスチャンスの獲得に向けて、三事業ともに、国内・海外の医療学会への参加や展示会への出展を行い、積極的なプロモーション活動を展開しております。医療事業につきましては、当期はイタリア、スペイン、フランスで開催された国際医療学会に出展いたしました。学会でのライブデモンストレーション(著名な医師による実際の手術の様態を中継するもの)では、当社のPTCAガイドワイヤーが使用され、当社の製品力が世界各国に浸透しております。また、医療デバイス事業はアメリカ、ドイツで開催された医療部材展示会に、インダストリアルデバイス事業は日本最大規模の専門技術展である「機械要素技術展」等に、それぞれ出展いたしました。毎回、当社ブースには多数の来場者が訪れ、当社の製品力、技術力に対し高い関心をお寄せいただいております。



バリPCR学会での当社ブース

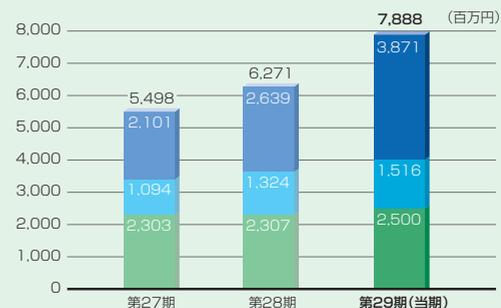


機械要素技術展での当社ブース

当社グループは、製品内容に応じ、
 メディカル事業、
 メディカルデバイス事業、
 インダストリアルデバイス事業の
 3事業にて構成されております。

●セグメント別売上高

- メディカル事業
- メディカルデバイス事業
- インダストリアルデバイス事業



Medical

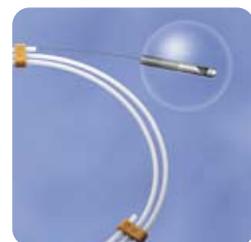
メディカル事業

当事業は、当社グループの主体事業であり、主に心臓循環器系疾患の診断および治療領域分野においての低侵襲治療製品を開発・製造・販売し、主に販売代理店を通じて病院などへ販売しております。連結子会社フィルメック株式会社は、一部の医療器具について原材料の一部を当社より入手し製造および販売しております。

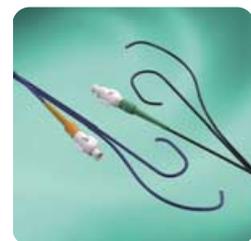
PCI治療に関するグローバル市場環境は、米国を中心に各国で薬剤ステントの普及が拡大することなどに伴いPCI治療件数が増加しており、今後も拡大する傾向にあります。当社グループは、医療機器分野における循環器系の治療用カテーテルシステムについて、グローバル展開を加速化する事を中期戦略の一つに掲げており、アボットラボラトリーズ社との間における当社の主要戦略製品であるPTCAガイドワイヤーの欧米地域などにおける独占販売代理店契約を、当初の契約期間2年(平成15年10月～平成17年10月)から5年間(平成16年12月～平成21年12月)に更新・延長いたしました。この契約期間延長は、独占販売代理店契約締結(平成15年10月)後、取引が大変好調に推移したことから、更なるシェア拡大を目指し、一層のグローバル展開を図ることを目的としたものであります。

低侵襲治療とは

医師が患者を治療する際に、患者に与える身体的・精神的ダメージのことを侵襲といいます。この侵襲を最小限に抑えるために、開胸・開腹手術をすることなく、最新の画像診断装置を駆使して血管の中から治療を行うことを低侵襲治療といいます。近年、内科・外科分野において広く応用されている治療方法であり、通常の外科手術に比較し、患者の身体的負担が軽減され、入院期間が短縮されるなどの利点があり、また付随して患者の経済的負担の軽減や、政府の医療費抑制策にも貢献する治療法と言われております。



PTCAガイドワイヤー

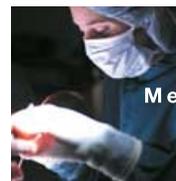


PTCAガイディングカテーテル

このような環境のもと、当社グループは絶えず製品の高機能化・高品質化に注力することにより、北米地域・欧州地域、更にはアジア地域を中心として受注は大きく拡大しております。また、国内市場でも、当期における新製品であるPTCAガイドワイヤー「Fielder(フィールダー)」の市場浸透が順調にすすみ、大変好調に推移いたしました。また、循環器系以外の治療用カテーテルシステムであるIVR関連製品においても、新製品投入や販売強化に伴い、腹部系を中心としてガイドワイヤー、マイクロカテーテルともに順調に推移致しました。このような結果、治療用カテーテルシステムの売上は、主要戦略製品であるPTCAガイドワイヤーを中心として、前年同期に対して大きく伸長いたしました。

一方、検査用カテーテルシステムについては、国内外共に新製品の販促活動を強化し、また欧州・アジアを中心に代理店を通じた積極的な入札参加を実施致しましたが、競合品との競争激化の影響を受け、前年同期に対して売上は減少いたしました。

以上の結果、売上高は38億71百万円(前期比46.7%増)、営業利益は13億91百万円(前期比47.2%増)となりました。



Medical Device

メディカルデバイス事業

当事業は、消化器分野、循環器分野、透析分野、放射線分野などに用いる低侵襲治療製品、および部材を開発・製造し、国内外の大手医療機器企業にOEM供給、ならびに部材の販売をいたしております。

医療機器業界での同業者間における価格競争が激化していることにより、大手医療機器企業が強力な販売網を活かし販売に注力すべく、製品製造について当社のような技術力、生産力に強みを持つ企業にアウトソーシングに委ねる傾向にあります。

このような環境の中、OEM供給品につきましては、当社の主力製品ケーブルチューブ「ACTONE(アクトワン)」の特性を生かした中心静脈用ガイドワイヤーを新規開発しOEM供給するなど、国内大手医療機器メーカーへの循環器系以外の治療用ガイドワイヤーを中心としたOEM供給が大変好調に推移いたしました。しかし、世界有数のメディカル総合企業へOEM供給しております透析用・肝臓ガン治療用・末梢血管用ガイドワイヤーについては、市場への浸透が安定期に



ACTONE™ (アクトワン)



Industrial Device

インダストリアルデバイス事業

当事業は、ワイヤー素材、アセンブリ品などの産業用の極細ステンレスワイヤーロープおよび端末加工品などを開発・製造し、主に産業機器メーカーへ販売しております。その販売分野は、アクセルケーブルを中心とした自動車産業、コピー機用光源駆動ロープやイメージスキャナ用特殊ロープを中心としたOA機器産業をはじめ、建築産業におけるシャッターや排煙設備など非常に多岐にわたります。

国内競合メーカーとの価格競争に加え、韓国・中国を中心とした海外廉価製品との価格競争の激化や、OA機器複合化に伴い製品の市場価格が下落傾向にあるなど、端末加工品及びワイヤー素材共に厳しい環境におかれています。

このような環境の中、端末加工品につきましては、OA機器関連製品の縮小、競合品との競争激化の影響



シンクロメッシュロープ

入ったことなどから、前年同期に対して売上は減少いたしました。

また、医療用部材につきましては、ケーブルチューブ「ACTONE(アクトワン)」が、米国ベンチャー企業Fox Hollow Technologies, Incが開発した医療機器「血管内アテレクミーカテーテル」に重要部品として使用されることなど医療機器部材としての使用機会が増加したことに加え、取引先の手医療機器メーカーの海外展開が好調であることに比例し内視鏡及び内視鏡処置具製品向けの低伸度・高耐久ロープが好調であることや、米国大手医療機器メーカーの血管内超音波内視鏡のセンサー駆動部分での採用が決定したことの影響を受けトルク技術製品が受注増加傾向にあることなどから、前年同期に対して売上は増加いたしました。

以上の結果、売上高は15億16百万円(前期比14.5%増)、営業利益は4億91百万円(前期比37.9%増)となりました。

を受けるものの、国内メーカーの海外向けレーザープリンター用チャージワイヤーや、海外OA機器メーカー向け複写機用チャージワイヤーの受注増加等により、前年同期に対して売上は増加いたしました。

一方、ワイヤー素材につきましては、自動車メーカーの海外調達比率の増加やアクセルの電子スロットル化に伴い自動車関連製品が減少するなどの需要落込みがあるものの、取引先メーカーの海外展開の活発化による自動車用コントロールケーブルの需要拡大や、ラインナップ増強による鮎釣り糸の受注増、住宅設備向けの需要増加による高圧(耐圧)ホース用線材の受注拡大などにより、前年同期に対して売上は増加いたしました。

以上の結果、売上高は25億円(前期比8.4%増)、営業利益は6億円(前期比4.9%増)となりました。

財務諸表(連結)

連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	第28期 (平成16年6月30日現在)	第29期 (平成17年6月30日現在)
【資産の部】		
流動資産	6,830,077	10,193,103
現金及び預金	3,642,405	6,270,682
受取手形及び売掛金	1,562,254	1,975,253
たな卸資産	1,210,002	1,408,294
繰延税金資産	74,113	104,128
その他	343,544	435,859
貸倒引当金	△ 2,243	△ 1,114
固定資産	4,364,680	5,029,836
有形固定資産	3,450,793	4,066,896
建物及び構築物	1,331,191	1,407,720
機械装置及び運搬具	519,770	768,973
土地	1,394,273	1,606,466
建設仮勘定	41,608	83,105
その他	163,951	200,630
無形固定資産	145,511	155,739
投資その他の資産	768,374	807,200
投資有価証券	27,870	44,330
繰延税金資産	133,473	87,076
保険積立金	550,978	602,146
その他	136,652	96,747
貸倒引当金	△ 80,600	△ 23,100
資産合計	11,194,757	15,222,940

(単位:千円)

科 目	第28期 (平成16年6月30日現在)	第29期 (平成17年6月30日現在)
【負債の部】		
流動負債	2,717,224	3,076,347
支払手形及び買掛金	571,284	575,212
短期借入金	1,548,680	1,512,948
未払金	215,589	228,985
未払法人税等	172,209	388,087
賞与引当金	39,814	56,879
その他	169,646	314,233
固定負債	2,694,803	1,811,474
長期借入金	2,125,052	1,237,942
退職給付引当金	121,370	136,741
役員退職慰労引当金	338,216	370,816
その他	110,165	65,974
負債合計	5,412,027	4,887,822
【資本の部】		
資本金	1,891,800	4,167,950
新株式払込金	1,052,800	—
資本剰余金	1,519,110	4,060,960
利益剰余金	1,550,655	2,304,211
その他有価証券評価差額金	56	2,310
為替換算調整勘定	△ 231,691	△ 200,313
資本合計	5,782,730	10,335,118
負債及び資本合計	11,194,757	15,222,940

連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	第28期 (平成15年7月1日から 平成16年6月30日まで)	第29期 (平成16年7月1日から 平成17年6月30日まで)
売上高	6,271,529	7,888,721
売上原価	2,980,916	3,462,031
売上総利益	3,290,613	4,426,689
販売費及び一般管理費	2,167,494	2,805,234
営業利益	1,123,119	1,621,454
営業外収益	15,066	13,913
営業外費用	142,233	156,445
経常利益	995,952	1,478,922
特別利益	2,164	480
固定資産売却益	744	480
貸倒引当金戻入益	1,419	—
特別損失	12,413	6,305
固定資産売却損	—	3,408
固定資産除却損	12,413	2,897
税金等調整前当期純利益	985,702	1,473,097
法人税、住民税及び事業税	308,538	559,164
法人税等調整額	△ 16,763	14,851
当期純利益	693,927	899,081

連結剰余金計算書

(単位:千円)

科 目	第28期 (平成15年7月1日から 平成16年6月30日まで)	第29期 (平成16年7月1日から 平成17年6月30日まで)
【資本剰余金の部】		
資本剰余金期首残高	1,368,110	1,519,110
資本剰余金増加高 増資による新株の発行	151,000	2,541,850
資本剰余金期末残高	1,519,110	4,060,960
【利益剰余金の部】		
利益剰余金期首残高	946,583	1,550,655
利益剰余金増加高 当期純利益	693,927	899,081
利益剰余金減少高 配当金	89,855	145,526
役員賞与	—	20,000
利益剰余金期末残高	1,550,655	2,304,211

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	第28期 (平成15年7月1日から 平成16年6月30日まで)	第29期 (平成16年7月1日から 平成17年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	742,547	899,354
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 334,303	△ 2,418,834
財務活動によるキャッシュ・フロー	764,375	2,669,457
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 17,787	9,299
現金及び現金同等物の増減額	1,154,831	1,159,276
現金及び現金同等物の期首残高	1,871,469	3,026,301
現金及び現金同等物の期末残高	3,026,301	4,185,578

貸借対照表

(単位:千円)

科目	第28期 (平成16年6月30日現在)	第29期 (平成17年6月30日現在)
【資産の部】		
流動資産	6,160,454	9,697,182
現金及び預金	3,348,137	5,957,035
受取手形	544,130	549,410
売掛金	1,070,337	1,616,172
製品	394,920	492,495
原材料	267,166	304,245
仕掛品	175,081	208,306
貯蔵品	15,218	16,206
短期貸付金	-	20,000
前払費用	35,048	57,993
繰延税金資産	36,445	55,277
未収入金	260,282	374,878
その他	15,857	46,214
貸倒引当金	△ 2,172	△ 1,053
固定資産	4,668,621	5,297,763
有形固定資産	2,579,038	2,936,620
建物	896,596	871,896
構築物	13,187	22,766
機械及び装置	232,749	316,685
車両及び運搬具	534	387
工具器具及び備品	116,725	144,151
土地	1,309,677	1,519,969
建設仮勘定	9,568	60,763
無形固定資産	137,053	146,164
投資その他の資産	1,952,528	2,214,978
投資有価証券	27,870	44,330
関係会社株式	1,128,196	1,184,041
出資金	3,100	1,100
長期貸付金	-	120,000
長期前払費用	664	1,713
繰延税金資産	203,560	207,559
保険積立金	550,978	602,146
会員権	98,082	32,141
その他	20,677	45,046
貸倒引当金	△ 80,600	△ 23,100
資産合計	10,829,075	14,994,946

(単位:千円)

科目	第28期 (平成16年6月30日現在)	第29期 (平成17年6月30日現在)
【負債の部】		
流動負債	2,742,962	3,368,861
支払手形	349,876	474,683
買掛金	445,781	603,292
短期借入金	300,000	370,000
一年以内返済予定長期借入金	1,206,494	1,133,304
未払金	104,914	186,398
未払費用	55,277	67,174
未払法人税等	139,092	323,839
未払消費税等	13,779	-
前受金	1,827	-
預り金	48,159	57,322
賞与引当金	39,065	55,967
その他	38,694	96,879
固定負債	2,573,744	1,742,975
長期借入金	2,115,707	1,237,403
退職給付引当金	119,820	134,755
役員退職慰労引当金	338,216	370,816
負債合計	5,316,706	5,111,836
【資本の部】		
資本金	1,891,800	4,167,950
新株式払込金	1,052,800	-
資本剰余金	1,519,110	4,060,960
資本準備金	1,519,110	4,060,960
利益剰余金	1,048,602	1,651,888
利益準備金	39,841	39,841
任意積立金	75,000	75,000
中間(当期)未処分利益	933,760	1,537,047
その他有価証券評価差額金	56	2,310
資本合計	5,512,368	9,883,109
負債及び資本合計	10,829,075	14,994,946

損益計算書

(単位:千円)

科目	第28期 (平成15年7月1日から 平成16年6月30日まで)	第29期 (平成16年7月1日から 平成17年6月30日まで)
売上高	6,486,982	8,089,611
売上原価	3,730,747	4,434,029
売上総利益	2,756,235	3,655,581
販売費及び一般管理費	1,946,385	2,478,261
営業利益	809,849	1,177,320
営業外収益	13,489	108,828
営業外費用	138,148	130,582
経常利益	685,190	1,155,567
特別利益	1,555	55
特別損失	12,413	5,761
税引前当期純利益	674,331	1,149,861
法人税、住民税及び事業税	239,363	425,411
法人税等調整額	△ 31,118	△ 24,361
当期純利益	466,085	748,812
前期繰越利益	467,674	788,234
当期末処分利益	933,760	1,537,047

株式の状況

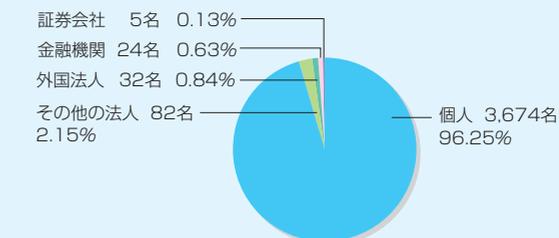
(平成17年6月30日現在)

会社が発行する株式の総数 25,000,000 株
発行済株式総数 7,926,300 株
株主数 3,817 名

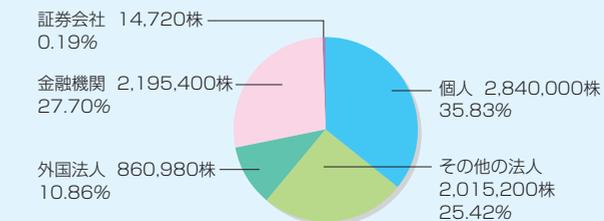
●大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
宮田 昌彦	753,050	9.50
アイ・シー・エス・ピー有限公司	750,000	9.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	740,800	9.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	524,700	6.62
宮田 憲次	467,050	5.89
株式会社ゲッツブラザーズ	354,000	4.47
日本ケーブル・システム株式会社	300,000	3.79
宮田 尚彦	296,000	3.73
朝日インテック社員持株会	185,710	2.34
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	156,300	1.97

●所有者別株式分布状況(株主数3,817名)



●所有株式数別分布状況(株式数7,926,300株)



会社の概要

商号	朝日インテック株式会社 ASAHI INTECC CO., LTD.
設立	昭和51年7月8日
資本金	41億6,795万円
従業員数	●単体 253名（平成17年6月30日現在） ●連結1,312名（平成17年6月30日現在）
本社	〒463-0024 名古屋市守山区脇田町1703番地 TEL 052-768-1211(代)
事業内容	①心臓循環器系疾患の診断および治療分野においての低侵襲治療製品（治療用カテーテルシステム、検査用カテーテルシステム）の開発・製造・販売 ②ワイヤー素材、アセンブリ品等の産業用ステンレスワイヤーロープの開発・製造・販売 ③消化器分野、循環器分野、透析分野、放射線分野における低侵襲治療製品・部材の開発・製造およびOEM供給

役員（平成17年10月1日現在）

代表取締役社長	宮田 尚彦
代表取締役副社長	宮田 昌彦
常務取締役	川西 俊昭
常務取締役	竹内 謙次
常務取締役	福井 芳彦
取締役	湯川 一平
取締役	宮田 憲次
常勤監査役	前田 善雄
常勤監査役	渡辺 行祥
監査役	佐藤 昌巳
監査役	百瀬 登

（注）監査役佐藤昌巳および百瀬登は、「株式会社の監査等に関する商法の特別に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

事業所

●国内事業所	東京営業所 名古屋営業所 大阪営業所 メディカル事業部 神戸リサーチセンター 瀬戸工場（デバイス事業部） 大阪工場（高石） 大阪工場（和泉）	東京都品川区 名古屋市守山区 大阪府高石市 愛知県瀬戸市 神戸市中央区 愛知県瀬戸市 大阪府高石市 大阪府和泉市
●国外事業所	香港支店 EU支店 東莞石龍朝日精密鋼線廠	中国 香港 オランダ アムステルダム 中国 広東省東莞市
●関連会社	ASAHI INTECC (THAILAND) CO., LTD. ASAHI INTECC USA, INC. ASAHI INTECC HANOI CO., LTD. フィルメック株式会社	タイランド パトゥムタニ県 米国 カリフォルニア州 ベトナム ハノイ市 名古屋市守山区



本社（名古屋市守山区）



ASAHI INTECC (THAILAND) CO., LTD.



株主メモ

証券コード	7747
決算期	6月30日
定時株主総会	毎年9月
株主確定基準日	定時株主総会・利益配当金 6月30日 中間配当金 12月31日
名義書換代理人	三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
お問い合わせ先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 03-5391-1900(代) 0120-707-696（フリーダイヤル）
公告掲載新聞	日本経済新聞 貸借対照表および損益計算書につきましては、当社のホームページに掲載しております。 http://www.asahi-intecc.co.jp/
株券の種類	100株券、1,000株券
1単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部 名古屋証券取引所市場第二部 JASDAQ証券取引所

（注）三菱信託銀行株式会社は、平成17年10月1日付で三菱UFJ信託銀行株式会社に商号変更する予定です。

IR情報は、ホームページ上でもご覧になれます。

ニュースリリース、財務情報、株主情報など、ホームページ上で最新の情報をご提供しております。

▶ <http://www.asahi-intecc.co.jp/>

株主の皆様へ

当社は、事業報告書を、株主の皆様とのコミュニケーションの場とさせていただきたいと考えております。お手数ですが、次のアンケートハガキにご意見、ご感想をお寄せください。（切手を貼らずにご投函ください。）

アンケートのお願い

- Q1 どこで当社をお知りになりましたか。
1. 証券会社 2. 新聞・雑誌 3. ホームページ 4. 知人の紹介
5. その他（ ）
- Q2 当社株式をご購入された理由をお聞かせください。（複数可）
1. 技術力 2. 将来性 3. 収益性 4. 経営理念
5. 安定性 6. 事業内容 7. 財務内容 8. 株価
9. その他（ ）
- Q3 当社株式をご購入された際の情報源は何でしたか。（複数可）
1. 四季報・会社情報等 2. 新聞・雑誌 3. 証券会社レポート
4. 証券会社の勧め 5. その他（ ）
- Q4 今後、当社株式について、どのような方針をお持ちですか。
1. 長期保有 2. 買い増し 3. 売却
4. その他（ ）

その他ご意見がありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

このアンケートのご回答は、今後の事業報告書の紙面づくりや、株主の皆様へのサービス拡充のために活用させていただきます。それ以外の目的で、株主の皆様の個人情報を公開・利用することは一切ございません。

キリトリ線



POST CARD

4 6 3 8 7 9 0

料金受取人払



名古屋市守山区脇田町1703
朝日インテック株式会社

総務チーム
株主アンケート係 行

差出有効期間
平成17年12月
31日まで
(切手を貼らずに
お出しください。)



ご芳名 または 貴社名	フリガナ
ご住所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	都 道 市 区 町 村 府 県 郡 村



朝日インテック株式会社

〒463-0024 名古屋市守山区脇田町1703番地
TEL 052-768-1211(代)

<http://www.asahi-intecc.co.jp/>



この印刷物は古紙配合率100%再生紙と
環境に配慮した「大豆油インキ」を使用しています。